

XDRの正しい選択が、予想以上の効果に

適切なXDRソリューションを採用することで、
セキュリティ対策の大幅強化プラスアルファのメリットに

今すぐ見る →

XDRによって変化するITセキュリティ情勢

サイバーセキュリティ環境はますます複雑化し、セキュリティチームは膨大なセキュリティ脅威への対応に追われています¹。進化し続ける脅威に対峙するために、セキュリティオペレーションセンター(SOC)を戦略的に適応し、テクノロジー基盤の最新にする必要があります。

サイバーセキュリティ脅威の検知・予防を通じて業務部門を支援し、顧客体験を改善するためには、社内ネットワーク、ID管理システム、エンドポイント、クラウド全体の可視性を向上する必要があります。

機械学習、分析・自動化機能を備えたExtended Detection and Response (XDR) テクノロジーは上記を実現するだけでなく、さらなるメリットをもたらします。しかし、多くのIT/セキュリティ専門家はXDRのメリットを充分認識しているとは言えません。

Forrester ConsultingはSecureworksの委託を受け、各種ソリューションに造詣が深いセキュリティ戦略意思決定者406名を対象に、XDR関連市場におけるアンケート調査を実施しました。

主な調査結果



XDRは企業にとって最重要課題である。

まだ広く普及していないものの、XDRテクノロジーは意思決定者が今後1年以内に導入を計画しているソリューションのトップに挙げられます。



企業はもはや遅れをとっている場合ではない。

ますます複雑化し、大規模化の一途をたどるセキュリティ脅威はオペレーションチームへの負担、効率性の低下を招き、社内セキュリティはリスクに晒されています。



XDRによる利益は期待を超える。

XDRには予想を上回るメリットが存在します。脅威調査、優先順位付け、全体的な対応などにおいて予想以上の価値をユーザーに提供することで、社内リスクが低下し、顧客の信頼が向上をもたらします。

企業が重要視する XDRソリューション

サイバー脅威が蔓延するなか、意思決定者の間でXDRソリューションが注目を集めています。アンケート回答者の30%が「今後1年間で最優先に考えるセキュリティソリューションはXDRである」と回答しています。これを実行に移す準備も整っています。

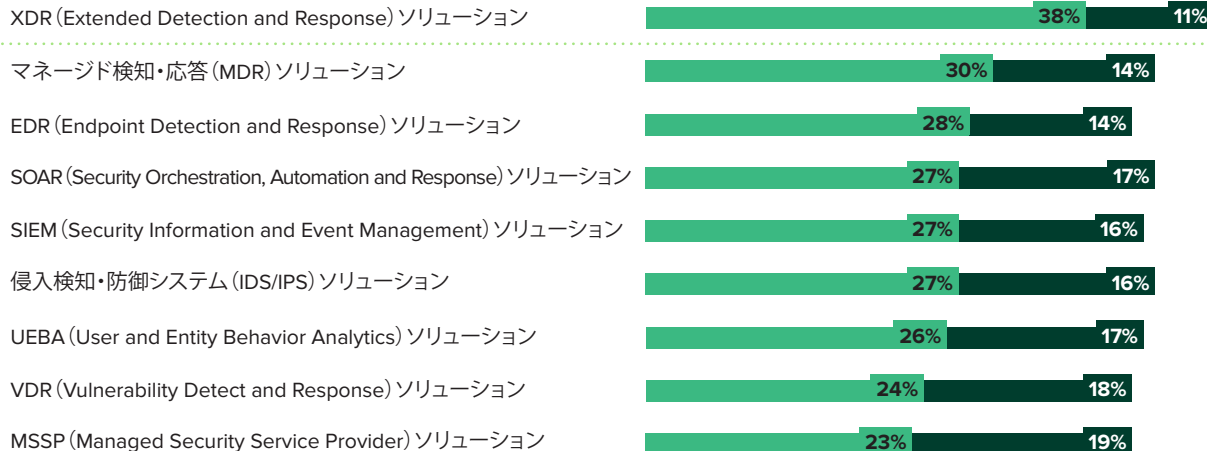
「XDRテクノロジーを導入済み」という組織はまだ少ないものの、「今後1年間で導入予定のツール/サービス」に関する質問ではXDRがトップに挙げられました。さらに10人中6人(60%)が「1年以内にXDRを導入予定、またはXDRの利用範囲を拡大する予定」と回答しています。

XDR: 今後1年で最優先されるセキュリティ対策テクノロジー

質問: 以下のセキュリティ運用
ツール/サービスのうち、貴社が
現在評価中/利用中のものは
どれですか?

● 1年以内に導入予定

● 興味はあるが
導入予定なし

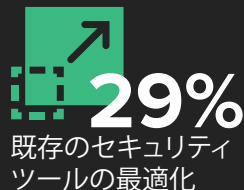
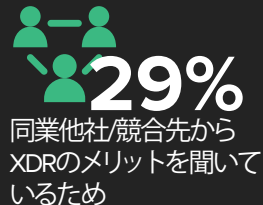
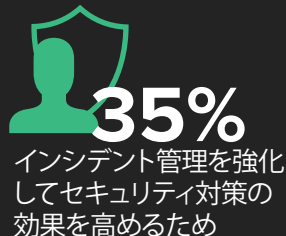
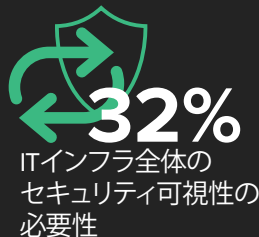
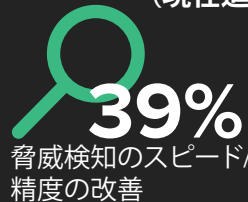


意思決定者が求めているのは 統合型のXDRパートナー

セキュリティ対策の効率化、ワークフローの迅速化、インシデント管理の強化を望む組織の声を受け、既存ソリューションがXDRへと進化しました。「XDRソリューションを検討するに至ったきっかけは何ですか？（現在進行形も含む）」という質問に対し、回答者の39%が「脅威検知の迅速性/精度を高めるため」、35%が「インシデント/イベント対応ワークフローをスピードアップするため」という理由を主に挙げています。

一方、XDRをすでに導入済みの意思決定者の4人中3人近く（73%）が「XDRベンダーが何らかの形でセキュリティオペレーションに携わり、総合的なサービスを提供してほしい」と考えており、企業（とくに小規模企業）がXDRベンダーの支援を必要としていることが明らかになりました。これはさらに、統合型サービスが付加されたXDRソリューションが、たとえばマネージドセキュリティサービスプロバイダ（MSSP）などの他のサービスに取って代わる可能性も示唆しています。

質問：XDRソリューションの利用を検討するに
至ったきっかけは何ですか？
（現在進行形も含む）



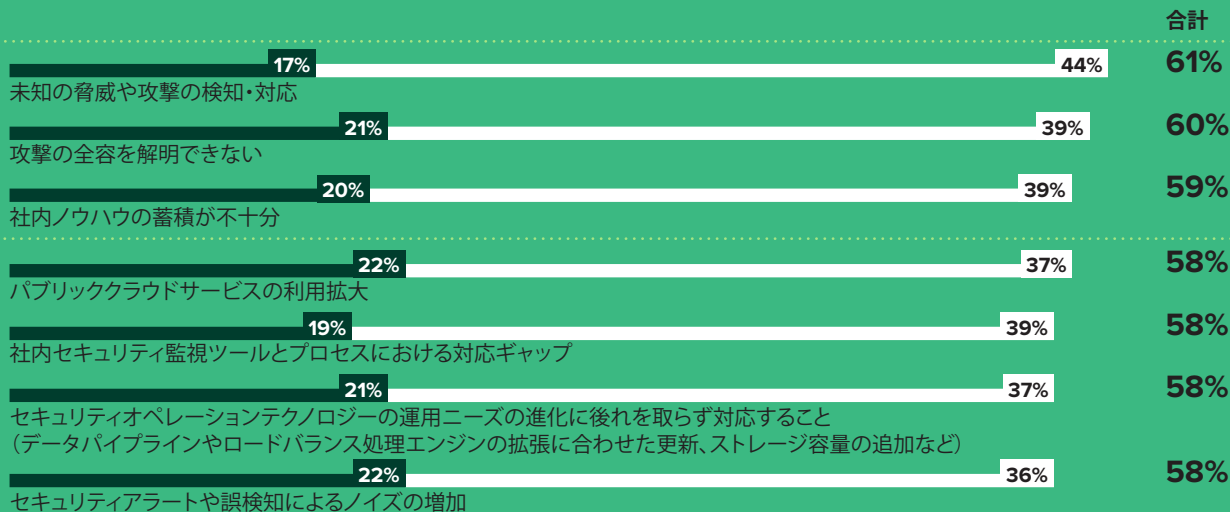
多くの課題が XDR導入の チャンスに

未知の脅威や攻撃の検知・対応をはじめ、様々なセキュリティ課題が企業を取り巻いています。社内セキュリティ対策の主な阻害要因として、「攻撃の全容を解明できない」(60%)、「社内ノウハウの蓄積が不十分」(59%)などが挙げられました。

また、意思決定者の1/4近く(23%)が「セキュリティ運用の大部分が手動タスクのため、規模の拡大に対応できなくなる」としています。つまり自動化や効率化をさらに進め、業務に対応する時間やスキルの不足分を穴埋めしなければならないことが示唆されます。

質問：
貴社にとって、以下に挙げる
セキュリティ課題はどの程度
深刻ですか？

- 非常に困難
- 困難



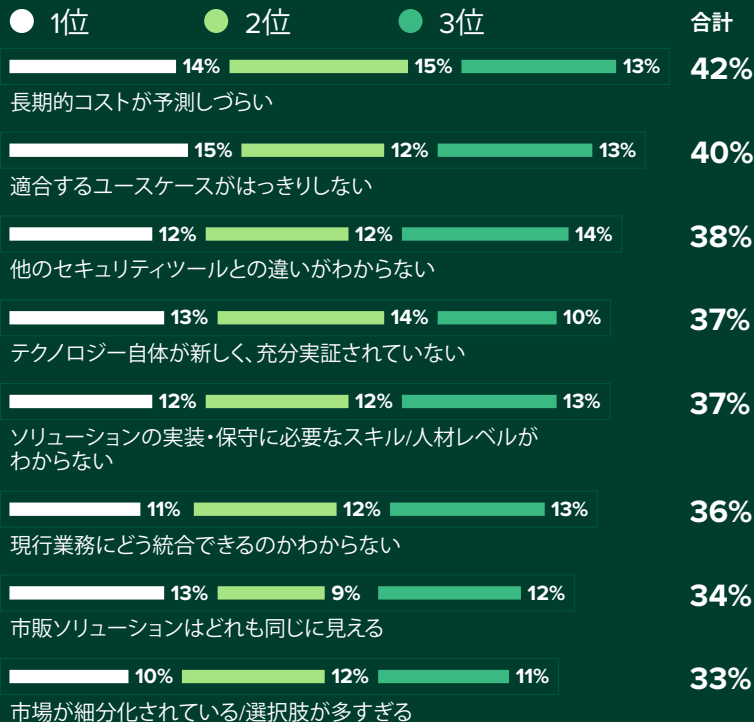
セキュリティソリューションの選択における 難題の対処

企業が直面する様々な課題を撃退するためのソリューションは存在しますが、(MDR、XDR、SIEMなどの)セキュリティベンダーへの投資を正当化することは一筋縄ではいかないかもしれません。アンケート回答者によると「ベンダーの価値を正当化する際の課題」を3つ挙げてもらったところ、「長期的コストが予測しづらい」(42%)、「適合するユースケースがはっきりしない」(40%)がランクインしました。長期的コストが予測しづらい、XDRなどのテクノロジー自体がまだ黎明期である、などの点に加え「多種多様な価格モデルが存在する」という点も課題のひとつです。

また、回答者の38%が「市販されている他のセキュリティツールとの違いがわからない」としています。意思決定者の38%がソリューションは、市場に出回っている他のセキュリティとどのような違いがあるのか不明であると回答しています。どのソリューションも大差ないように思え、日常業務に忙殺されている担当者にとって「セキュリティスタックをわざわざ更改する必要があるのか?」と考えることは自然な流れです。

MDR、XDR、SIEMなどの セキュリティ脅威対策ソリューションベンダーに関する検討項目

質問:
上記ベンダーへの投資を正当化するにあたり、阻害要因となる項目を3つ、ランキング形式で回答してください。



XDRの正しい選択が、予想以上の効果に

7

セキュリティソリューションの 選択を誤れば、リスクが増加し、 顧客からの信頼も低下する

「適切なセキュリティソリューションを導入しなかった場合の問題」に対する回答のトップに、「セキュリティ侵害の増加」と「インシデント発生率の上昇」を挙げており、いずれも重大かつ広範囲にわたる問題です。サイロ化されたソリューションや、広大な攻撃対象領域に生じる死角なども、この一因と考えられます。

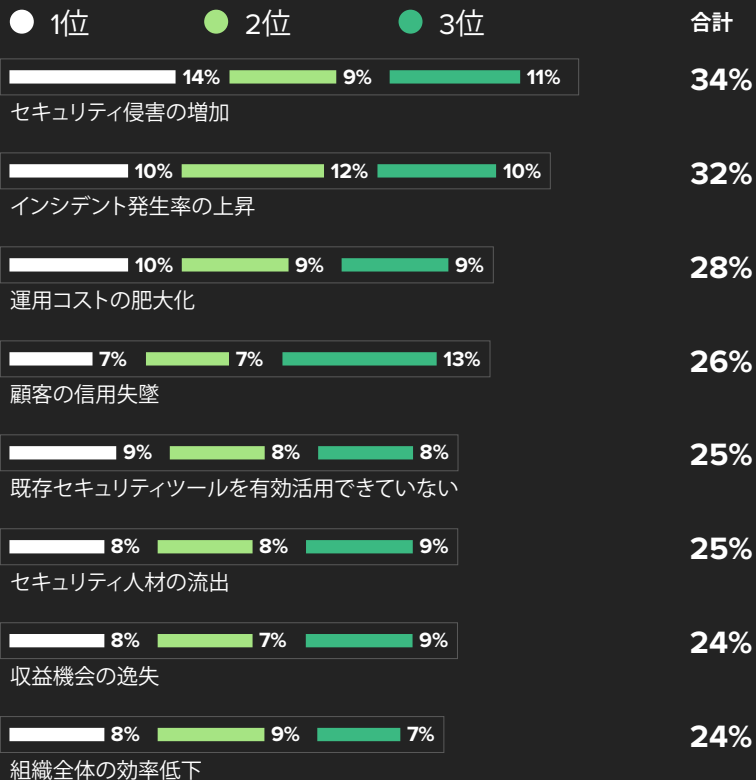
このほか、回答者の28%が「運用コストの肥大化」を、4人に1人(26%)が「顧客の信用失墜」を、25%が「現行セキュリティツールを有効活用できない」を上位項目に挙げています。



FORRESTER OPPORTUNITY SNAPSHOT: A CUSTOM STUDY COMMISSIONED BY SECUREWORKS | JUNE 2022

質問:

適切なセキュリティ脅威対策ソリューションを導入しなかった場合、どのような問題が生じると思いますか？
(上位3項目をランキング形式で回答)



対象: セキュリティ戦略意思決定者406人

注: 四捨五入のため、パーセンテージの合計は個々の数値を加算したものとは一致しない場合があります。

出典: A commissioned study conducted by Forrester Consulting on behalf of Secureworks, April 2022

予想を上回るXDRのメリット

XDRの導入前は、「重要資産の保護強化」や「脅威ハンティングの効率化」などへの期待が大きいものの、利用経験によってXDRへの期待値はまちまちです。これにより、XDRがもたらす真の価値および他のツールとの相違点の理解度には開きがあることがわかります。

XDRをこれから導入する予定の回答者は、主に脅威ハンティング、保護・検知機能に関するメリットを期待していますが、すでに導入済みの回答者は「脅威対応において想像以上の効果があった」（アラートの忠実度と優先度判定の改善、異種ツールの効果的な統合、調査の効率化など）と感じています。XDRを利用中の回答者は、可視性や測定機能の改善、アラート疲れの解消、自動化プロセスの拡充、対応時間の短縮などの面で「XDRソリューションの効果は予想以上だった」としています。

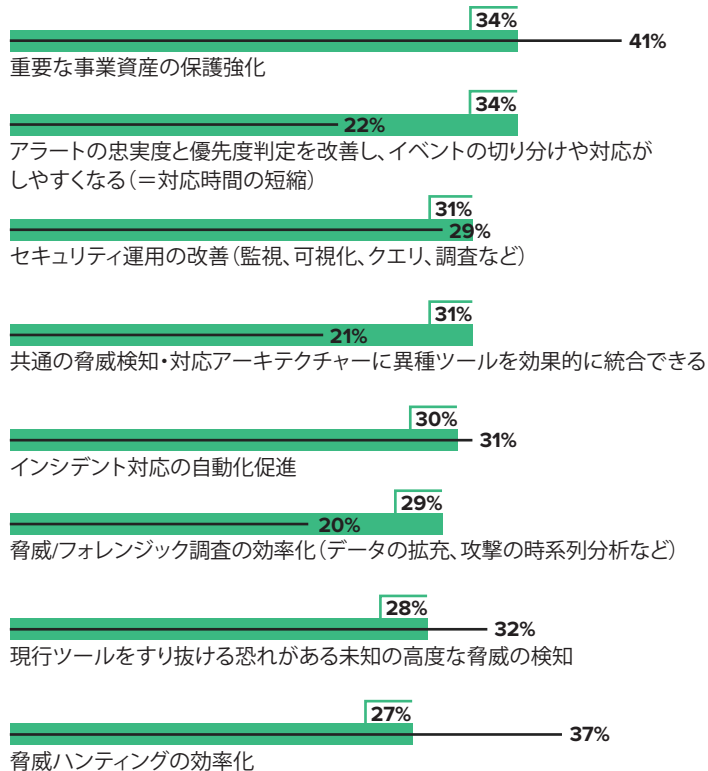
「(XDRによって)アナリストの調査作業をスピードアップできるため、リスクを軽減できます」

米国企業のCxO

FORRESTER OPPORTUNITY SNAPSHOT: A CUSTOM STUDY COMMISSIONED BY SECUREWORKS | JUNE 2022

質問:貴社にXDRソリューションを導入することでどのようなメリットを期待していますか?

● XDRを導入済み ○ XDRを導入予定



対象:導入中または導入を計画しているセキュリティ戦略意思決定者397人

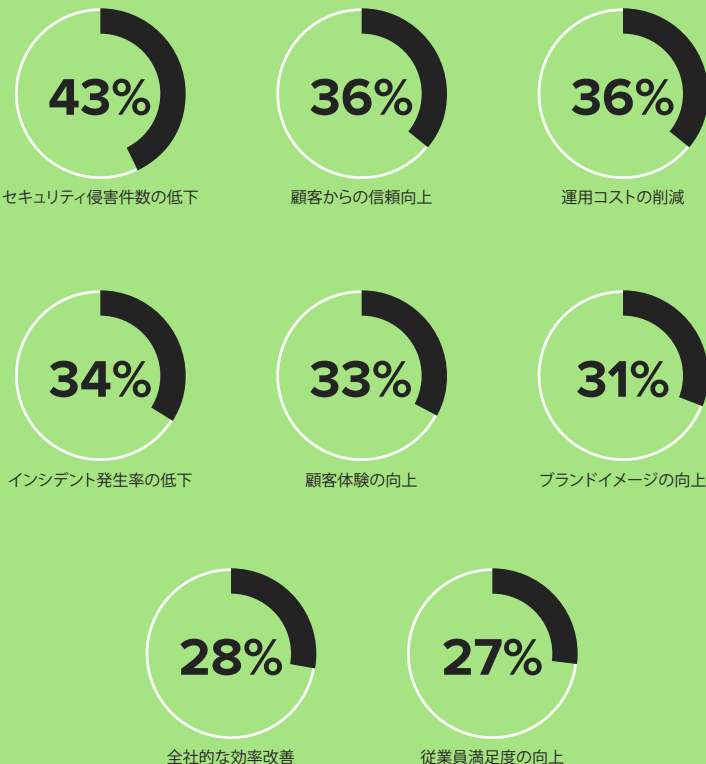
出典:A commissioned study conducted by Forrester Consulting on behalf of Secureworks, April 2022

XDRによるリスク低減、顧客からの信頼向上、セキュリティ強化

自社のセキュリティ運用ソリューションを更改することで、多くのメリットを得られます。アンケートに回答した意思決定者は、XDRがもたらす最終的なメリットとしてセキュリティ侵害とインシデントの低下を挙げています。また回答者の36%が、安全なインタラクションおよび顧客体験の結果としての「顧客からの信頼向上」を挙げています。さらに、1/3以上の回答者(36%)がXDRソリューションの導入成果として「オペレーションコストの削減」を挙げていました。XDRに移行することで、既存ソリューションのコストを削減するだけでなく、人材がひっ迫する状況で業務量を低減し、スタッフの稼働時間を有効活用することで、さらなるコスト削減も見込めます。

「(XDRを使えば) 人員を増やすことなく
サイバー脅威を管理できます」
カナダ企業のバイスプレジデント

質問: 貴社にXDRソリューションを導入することでどのようなメリットを期待していますか?



結論

リスクを低減し、より優れたカスタマーアウトカムを向上するには、セキュリティソリューションを継続的にモダナイズする必要があります。意思決定者として進化し続ける脅威に対応できるよう、以下のように実現可能なXDRソリューションを優先的に検討しましょう。

- 脅威検知速度/精度の改善およびインシデント/イベント対応ワークフローのスピードアップ。手動タスクの時間と工数の削減、自動化の促進、脅威のさらなる可視化。
- セキュリティオペレーションの道案内役として企業を支援し、対策力を強化するXDRベンダーとの一体的な取り組みを通じた縦割りソリューションの削減、現在および将来的なリスク管理の強化。
- リスク低減および顧客からの信頼向上。企業のセキュリティ状態を正確に把握し、脅威対応を強化することで、最終的にXDRを利用する企業のみならず顧客体験にもメリットをもたらす。

プロジェクトディレクター：

Jason Daniels

マーケットインパクトコンサルタント

調査協力：

Forrester セキュリティ&リスク リサーチグループ

XDRの正しい選択が、予想以上の効果に

調査手法

本調査「Opportunity Snapshot」はSecureworksの委託を受けて Forrester Consultingが実施しました。

概要を把握するにあたり、Forrester Consultingが独自に作成した設問をセキュリティ戦略の意思決定者406名に配布し、調査内容を実施しました。

こちらの個別調査は2022年3月から同4月にかけて実施しました。

脚注

¹ 出典：March 30, 2022, “The State Of The XDR Market,” Webinar (<https://www.forrester.com/webinar/The+State+Of+The+XDR+Market/WEB37782>).

FORRESTER CONSULTINGについて

Forrester Consulting provides independent and objective research-based consulting to help leaders succeed in their organizations. Ranging in scope from a short strategy session to custom projects, Forrester’s Consulting services connect you directly with research analysts who apply expert insight to your specific business challenges. For more information, visit forrester.com/consulting.

© Forrester Research, Inc. All rights reserved. Unauthorized reproduction is strictly prohibited. Information is based on best available resources. Opinions reflect judgment at the time and are subject to change. Forrester®, Technographics®, Forrester Wave, RoleView, TechRadar, and Total Economic Impact are trademarks of Forrester Research, Inc. All other trademarks are the property of their respective companies. For additional information, go to forrester.com. [E-53586]

FORRESTER OPPORTUNITY SNAPSHOT: A CUSTOM STUDY COMMISSIONED BY SECUREWORKS | JUNE 2022

調査対象者の内訳

居住国	
米国	44%
カナダ	30%
英国	26%

企業規模（従業員数）	
5,000～19,999人	28%
1,000～4,999人	50%
500～999人	22%

主な業種（上位4業種）	
テクノロジー	10%
ヘルスケア	9%
農業/食品	8%
小売	7%

回答者の職位	
CxO	14%
バイスプレジデント	47%
ディレクター	31%
マネージャー	8%

A person wearing a red and blue plaid shirt is gesturing with their hands while presenting. In the foreground, a laptop and a smartphone are on a wooden desk. The laptop screen displays a dashboard with various charts and graphs. The background is blurred, showing other people in a meeting setting.

FORRESTER®